

奈良

聖徳太子の里



# 斑鳩・法隆寺

日本最初の世界遺産



1300年の昔よりはじまる仏教文化の色濃く残るところが、斑鳩の里です。

その中心の法隆寺は、法起寺とともに1993年日本で初めての「世界文化遺産」に登録されました。中でも、金堂・五重塔・中門・廻廊は、現存する世界最古の貴重な木造建築です。

法隆寺の創建の由来は、金堂の薬師如来の光背に刻まれた銘文によれば、聖徳太子の父・用明天皇が自らの病氣平癒を祈り、薬師如来の造立と寺院の造営を願われ、その御遺志を継いで建立されたとあります。しかし、その「斑鳩寺」は670年焼失し、その跡が現在の「若草伽藍」です。後の711年までに現在の法隆寺が完成したと言われています。

寺域は、187,000㎡と広大で各時代の建築・彫刻・工芸品を多く有し、内38件が国宝に指定されています。

# 法隆寺ここがスゴイ!

## 飛鳥時代の様式を伝える木造建築

法隆寺は、仏教文化とともに大陸から入ってきた文化の名残をみることができる。例えば、金堂・五重塔・中門には、飛鳥様式の特徴「雲肘木」「卍崩しの高欄」「人字の割束」があり、金堂壁画は、インドのアジャンター遺跡や中国の敦煌莫高窟の壁画の影響がみられる。

## 法隆寺の悲劇が法律を誕生させた

1949年1月26日未明、昭和の大修理中の金堂から出火、貴重な壁画が焼損する事故が起こった。幸い解体修理中のため、仏像は移設・屋根や小壁画は取り外されていたため被害を免れた。今なお、焼損した壁画と初層の部材はそのまま樹脂で固められ、収蔵庫に眠っている。この悲劇により、「文化財保護法」が翌年に制定された。



仏教壁画の世界的傑作  
法隆寺金堂の壁画  
1949年の火災で焼損した。

焼跡に立つ佐伯定胤

## 法隆寺の宮大工はスゴイ

法隆寺の西隣にある西里は、古くから法隆寺を支える大工集団の里であったといわれる。

特に、中井正清は法隆寺大工の棟梁にして、豊臣秀吉の大坂城築城に関わり、その後徳川家康に仕え京都の伏見城・二条城、東京の増上寺・江戸城の天守・本丸など数々の事業で棟梁として関わった。

また、昭和の大修理を行った西岡常一は、法隆寺の鬼とも呼ばれ、古代木造建築の特長を説き、古代の大工道具「やりがんな」を復元した。その後、法輪寺三重塔・薬師寺の伽藍の復興などに力を注いだ。

尚、2020年に、法隆寺に代表される日本の伝統的な建築文化を支えてきたとされる宮大工や左官職人ら匠が継承する「伝統建築工匠の技 木造建築物を受け継ぐための伝統技術」はユネスコの無形文化遺産に登録された。

## 日本で一番多くの国宝がある寺

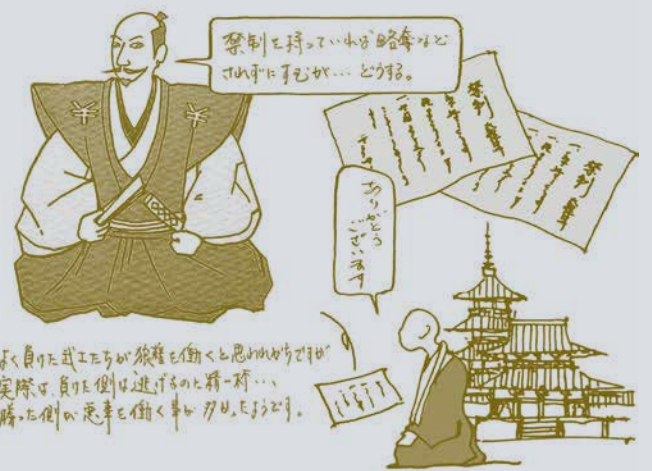
現在、法隆寺にある国宝だけでも39件。その内建物は18件、彫刻・工芸品は21件あり、日本で一番国宝を持っているお寺。明治時代に皇室に献納され、東京国立博物館法隆寺館に保存されている宝物にも国宝が多数ある。

## 法隆寺が1300年も残ったということは…

法隆寺は、約100年毎の屋根の葺き替え修理や、約300年毎の大修理が行われて、現在まで建物は残されている。修理の跡は、補修された柱や瓦の模様などに見られる。境内には、飛鳥時代だけでなく、各時代の仏教建築を見ることができ。七堂伽藍全てが国宝なのは法隆寺だけ。

## 戦国三大武将は、法隆寺と関わりがあった

法隆寺は、戦国武将とも関わりがあり、織田信長は、1574年法隆寺境内での陣取り・寄宿・竹木伐採の禁止などの掟を作り、豊臣秀吉は検地により石高を定め、息子・秀頼は慶長の大修理をした。徳川家康は大坂冬の陣の出陣前に戦勝祈願に訪れ一泊していた。

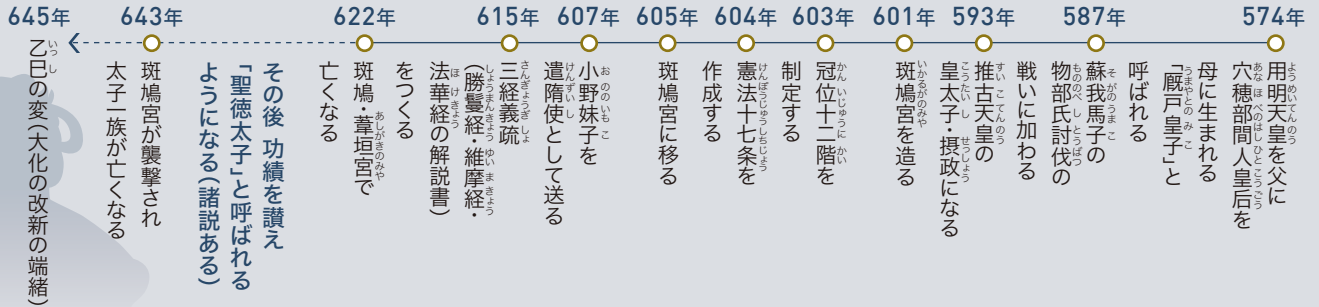


## 現代にも生きる五重塔の工法

五重塔の心柱は、東京スカイツリー建設の際、免震工法のヒントとして応用された。

# 聖徳太子の生涯

史料により異なります

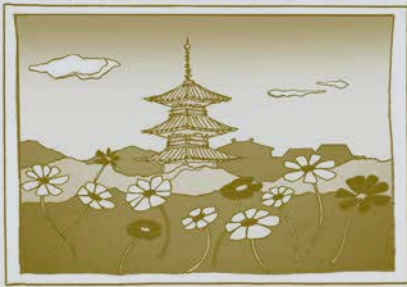


## 斑鳩に残る聖徳太子の足跡

### 法起寺

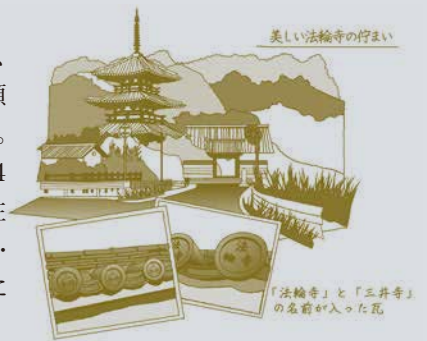
聖徳太子が、法華經の講義を行ったとされる「岡本宮」を寺にしたと伝わる。最古の三重塔(飛鳥時代・国宝)がある。法隆寺と共に「世界文化遺産」に登録される。

秋になると法起寺周辺はコスモス畑に様変わりします。コスモス畑から見ると三重塔は格別の絵になります。



### 法輪寺

息子の山背大兄王が、聖徳太子の病氣平癒を願って建立したとも伝わる。創建当時の三重塔は1944年に焼失し、1975年現在の塔が再建される。飛鳥・平安時代の仏像を身近に拝することができる。



### 太子道「筋違道」

聖徳太子が斑鳩から飛鳥に通ったとされる奈良盆地を斜めに通る道で、斑鳩には田んぼの中に痕跡があるだけだが、隣の安堵町・三宅町には今も道としてのこっている。

### 史跡中宮寺跡

現在の中宮寺の東400mのところであり、斑鳩宮・岡本宮・葦垣宮の真ん中にあった母のための中宮の跡である。発掘調査の後、塔や金堂の礎石が復元・整備され、歴史公園として活用している。

### 上宮遺跡公園

聖徳太子が亡くなった葦垣宮があったといわれるところで、発掘の結果、飛鳥時代の土器が出土したほか、奈良時代の大型掘立柱建物群跡が発見されている。

### 赤染の井戸

法輪寺の北側にあり、聖徳太子が掘らせた三つの井戸の一つと伝わる。

### 藤ノ木古墳

6世紀後半に造営され、発掘された豪華な馬具などの副葬品から皇族や豪族など位の高い人が埋葬されたと考えられる。造営の時期・場所から、聖徳太子に近い人物ではないかと考えられている。

### 龍田神社

聖徳太子が寺院を建立する所を探しているとき、ふさわしい場所を教えてくれた老人が龍田明神であり、その神を祀っている。神社の前は大阪と奈良を結ぶ「奈良街道」で、西へ向かうとやはり聖徳太子建立の四天王寺に行き着く。

## 法隆寺の七不思議

諸説あります

- 南大門の前にある鯛石**  
どんな大洪水がおこっても、ここまで水があがってこなかった。
- 境内にある三つの伏蔵**  
法隆寺に何か起こったときに開けるようにと伝わる地下蔵。
- 五重塔の相輪にある四本の鎌**  
落雷のお守りとも、豊作の願いともいわれる。
- 地面に雨だれの穴があかない**  
とても地盤がしっかりしているといわれている。
- 開かずの門と閉めずの門**  
開かずの門(不明門)は、かつて推古天皇勅額(天皇が書かれた額)が掲げられており通れず、また、近くの閉めずの門(不閉門)は、昔通りの上にあったため閉められなくなったといわれる。
- 建物に蜘蛛が巣を張らない**  
法隆寺の建物には蜘蛛の巣が張らないといわれるのは、昔からお寺の人が聖徳太子を敬って、お掃除をしたからとか。
- 夢殿の礼盤(僧侶の座席)の下が汗をかいている**  
そこだけが湿気が多く出るという、一説には下に井戸があるとか。

# 法隆寺の主なみどころ〈建造物等〉

## 1 法隆寺参道

奈良街道から法隆寺へ向かう松並木。1261年に後嵯峨上皇の行幸時につくられたとされ、1932年国道の開通により分断された。



## 2 南大門

室町時代・国宝

法隆寺の玄関にあたる門で、室町時代に再建される。南大門に仁王像を置かない飛鳥時代の特徴もあるが、屋根の大きな反り上がりや組物の花肘木など室町時代の新様式も見られる。

## 3 西円堂

鎌倉時代・国宝

境内の北西の小高い丘の上に建つ八角形のお堂で、「峰の薬師」と呼ばれて庶民の信仰を集めている。堂内には、大きな薬師如来坐像(奈良時代・国宝)が安置される。西円堂の横にある鐘は、時の鐘として使われている。

## 4 西室・三経院

鎌倉時代・国宝

もとは僧が生活をするための僧房で、南側は、三経(法華経・勝鬘経・維摩経)を講義するためのお堂に改造された。

## 5 中門

飛鳥時代・国宝

中央にふくらみのある柱は「胴張り(エンタシス)」と呼ばれ、飛鳥時代の様式を残す。日本最古(711年安置)の金剛力士像(仁王像)が私達を迎えてくれる。

## 6 五重塔

飛鳥時代・国宝

お釈迦様の遺骨(舍利)を安置する建物で、その中心には心柱が通り、その下には舍利を納めた礎石がある。この塔は、上になるほど幅が狭くなり、五重目は初重の半分の幅で、安定感があり美しい。初重には粘土造りの像があり、北面の釈迦入滅の場面が有名である。

## 7 大講堂

平安時代・国宝

法隆寺最大の建物で、仏教研鑽と法要を行う場所である。堂内に安置されている薬師三尊像は平安時代の作・国宝である。

## 8 金堂

飛鳥時代・国宝

法隆寺で最初に建立されたと考えられ、飛鳥様式の特徴を残す世界最古の木造建築である。三組のご本尊を安置するお堂で、四方の壁画には復元壁画がみられ、天井には各仏像のための天蓋が吊るされている。



## ● 薬師如来坐像(東の間)

飛鳥時代・国宝

法隆寺の起源となる仏像で、聖徳太子の父・用明天皇が自らの病氣平癒を願った遺志を継ぎ造ったと言われる。

## ● 釈迦三尊像(中の間)

飛鳥時代・国宝

聖徳太子の病氣平癒及び死後の往生を願い、止利仏師により太子等身大の仏像が造られた。面長の顔・アーモンド形の日・両端の上がった口元のアルカイックスマイルが特徴である。

## ● 阿弥陀三尊像(西の間)

鎌倉時代・重要文化財

聖徳太子の母のために造られたとされるが1098年に盗まれ、鎌倉時代に今の像が完成した。脇侍の勢至菩薩像は、幕末ころ寺外に流出し、現在はフランスのギメ美術館にあり、今はお身代わり(レプリカ)が安置されている。

## ● 四天王像

飛鳥時代・国宝

最古の四天王像で、静かなたたずまいが特徴である。踏みつけられている邪鬼の表情が面白い。

## ● 毘沙門天・吉祥天像

平安時代・国宝

正月の国家安泰などを願う金堂修正会の本尊である。

## 9 廻廊

飛鳥時代・国宝

金堂・五重塔のある伽藍を仏の聖域として区切るとともに僧の修行や法要に参集するための建物である。特徴は飛鳥様式の胴張りの柱と連子窓である。中門より左側の途中に経蔵(奈良時代・国宝)が、右側に鐘楼(平安時代・国宝)がある。





## 16 大宝蔵院

中央に百済観音堂を配置した宝物館で、我が国を代表する数々の宝物が展示されている。

### ●夢違観音像

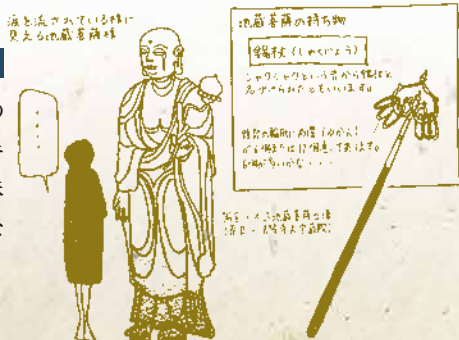
悪夢を吉夢に変えてくれるという観音像で、そのやわらかく、ゆったりとしたお姿は、人々を魅了する。

### ●九面観音像

本面と頭上の八つのお顔を合わせた九つの顔を持つ観音像で、白檀の一木から彫られた緻密な名品である。古代中国の唐から渡来した。

### ●地蔵菩薩像

平安時代で最初期の地蔵菩薩である。左手に蓮台に乗せた宝珠を持っており一般的な持物と異なる。



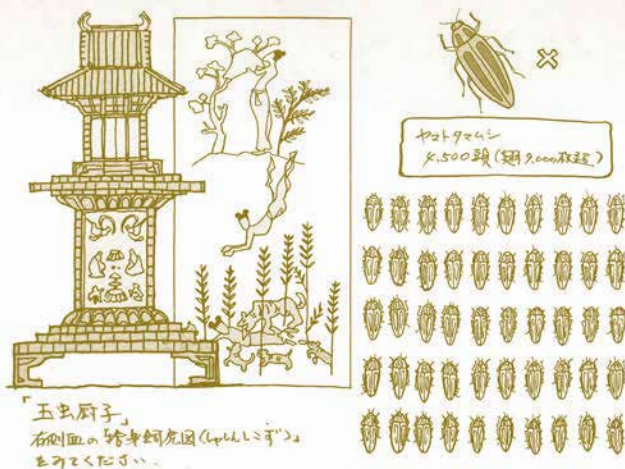
飛鳥時代・国宝

中国唐時代・国宝

平安時代・国宝

## ●玉虫厨子

透彫りの金具の下に美しい玉虫の羽を敷きつめて作られていることからこの名が付けられた。上部の飛鳥建築様式そのままの宮殿部と下部の須弥壇からなり、その側面には、釈迦の前世の出来事を説いた「捨身飼虎図」など本生譚が描かれている。



飛鳥時代・国宝

## ●百済観音像

我が国を代表する仏像として世界的にも有名。2m以上もある長身で、左手に水瓶を持ち、優美で慈悲深い表情のお姿である。



飛鳥時代・国宝

## ●伝・橘夫人厨子

阿弥陀如来が蓮池からのびた蓮の花の上に座り、両脇の蓮のつぼみの上に2体の脇侍が従う。

## ●百万塔

称徳天皇が内乱後の平和を願った木造の小塔で、塔身部の中心をくり抜き印刷されたお経が収納されており、世界最古の印刷物とされている。奈良時代に文字通り百万基作られ、興福寺・東大寺・元興寺など十大寺に奉納されたが、現在は法隆寺にのみ残る。

飛鳥時代・国宝

奈良時代・重要文化財

## 17 東大門

門の下から見上げると、前後に棟が二つ並んでいるように見え、大屋根をあわせて三棟造り8本の控え柱がある八脚門である。

奈良時代・国宝

## 18 東院伽藍

この地は、聖徳太子が住まれた斑鳩宮の跡地で、太子の死後、遺徳を偲んで建立された「上宮王院」という別の寺院であった。

### ●夢殿

奈良時代・国宝

この伽藍の中心となる建物。八角形の円堂で、屋根頂上の金銅製宝珠露盤は美しい。堂内には、秘仏・救世観音像や東院伽藍を造ったとされる行信僧都像(奈良時代・国宝)が安置される。

### ●救世観音像

飛鳥時代・国宝

聖徳太子等身の像であると伝えられ、長い間秘仏として人々の眼から閉ざされてきたが、1884年美術研究家のフェノロサ(アメリカ)や岡倉天心により開扉された。(春と秋に特別公開)



## 19 中宮寺

太子の母の穴穂部間人皇后の中宮を寺にしたと伝わる。

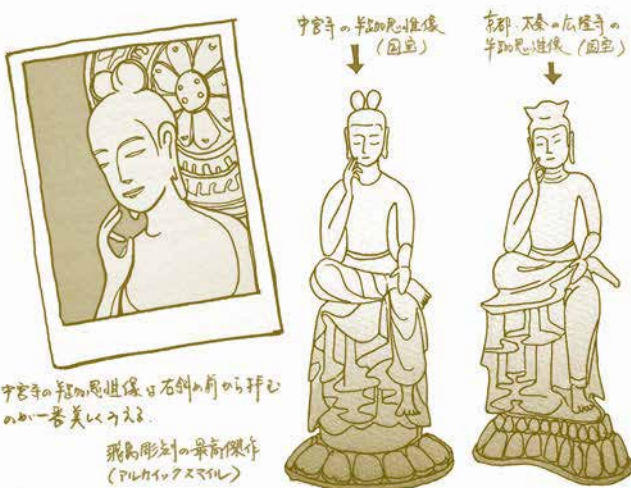
### ●菩薩半跏思惟像 (伝如意輪観音菩薩)

飛鳥時代・国宝

頬に右手をあて、右足を組み、優しい微笑みをたたえた樟造である。

### ●天寿国繡帳(複製品)

聖徳太子の死後、妃の橘大郎女がつくったとされる国内最古の刺繍である。描かれている人の服装や亀の甲羅の文字など当時を知る貴重な資料である。



時代	建築物		仏像・工芸	
	法隆寺	奈良の他の寺院	法隆寺	奈良の他の寺院
飛鳥 (白鳳)	金堂・五重塔	三重塔(法起寺)	釈迦三尊・薬師如来・四天王(金堂)	飛鳥大仏(飛鳥寺)
	中門・廻廊		玉虫厨子・百済観音(大宝蔵院)	
			救世観音(夢殿)	
			菩薩半跏思惟・天寿国繡帳(中宮寺)	
奈良 (天平)		東塔(薬師寺)	塔本塑像(五重塔)・金剛力士(中門)	仏頭(興福寺)
			夢違観音・橘夫人厨子(大宝蔵院)	薬師三尊像(薬師寺)
	経蔵・東室・食堂	三月堂・転害門(東大寺)	銅鐘(東院伽藍鐘楼)・行信僧都像(夢殿)	阿修羅(興福寺)
平安	東大門・夢殿	金堂・講堂(唐招提寺)	九面観音(大宝蔵院)・唐時代)	不空羼索観音立像(東大寺)
	伝法堂	東西両塔(当麻寺)	薬師如来(西円堂)・百万塔(大宝蔵院)	鑑真和上像(唐招提寺)
	大講堂	金堂(室生寺)	薬師三尊(大講堂)千手観音(西円堂)	薬師如来像(元興寺)
鎌倉	綱封蔵・妻室		聖徳太子摂政像(聖霊院)・七歳像(大宝蔵院)	九体阿弥陀仏(浄瑠璃寺)
	鐘楼		毘沙門天・吉祥天(金堂)・地藏菩薩(大宝蔵院)	
	西円堂・三経院・西室	南大門・鐘楼(東大寺)	阿弥陀三尊(金堂)	南大門仁王像(東大寺)
室町	舍利殿・絵殿・上御堂	北円堂・三重塔(興福寺)	聖徳太子二歳像・孝養像(大宝蔵院)	無著・世親像(興福寺)
	聖霊院・東院鐘楼			
桃山	南大門・中院本堂	五重塔・東金堂(興福寺)		達磨大師(達磨寺)
	宝珠院本堂・東院廻廊	仁王門(金峯山寺)		
江戸	大湯屋	蔵王堂(金峯山寺)		
	西園院客殿			
明治 ~現代	上土門・唐門	大仏殿・二月堂(東大寺)	聖徳太子摂政像御身代わり(大宝蔵院)	大仏(東大寺)
	律学院本堂			
明治 ~現代	大宝蔵院	金堂・西塔・中門(薬師寺)		
		中金堂(興福寺)		

